

Windows PC における
ローカルユーザーアカウント利用の確認
および作成方法

令和 4 年 6 月 版
情報連携推進本部作成

内容

| | |
|---|----|
| 1. 本マニュアルの概要 | 3 |
| 2. Winndows ローカルユーザーの確認および設定フロー | 4 |
| 3. Winndows でローカルユーザーの有無を調べる | 5 |
| (1) Windows10 で設定画面(アカウント)を確認する | 5 |
| (2) Windows11 で設定画面(アカウント)を確認する | 6 |
| (3) Windows8.1 で設定画面(アカウント)を確認する | 8 |
| 4. Winndows11 でのローカルユーザー切り替え (Windows10 でも同様) | 10 |
| (1) PC を起動して設定画面(アカウント)を表示する | 10 |
| (2) ローカルアカウントを作成する | 12 |
| (4) PC を再起動し、作成したユーザーで起動する | 14 |
| 5. Winndows10 でローカルユーザーを作成する | 16 |
| (1) Windows10 のアカウントを開いて新しいユーザーを作成する | 16 |
| (2) 作成したローカルアカウントを管理者に設定する | 17 |
| (3) PC を再起動し、起動時に選択できるユーザーを確認する | 18 |
| (4) 作成したユーザーの初回起動時設定をする | 19 |
| (5) データ移行および不要なユーザーの削除 ※必須作業ではないが推奨 | 20 |
| 6. Winndows11 でのローカルユーザー作成 | 21 |
| (1) PC を起動して設定画面(アカウント)を表示する | 21 |
| (3) 新しいローカルアカウントを作成する | 23 |
| (3) 作成したローカルアカウントを管理者に設定する | 24 |
| (4) PC を再起動し、起動時に選択できるユーザーを確認する | 25 |

- (5) 作成したユーザーの初回起動時設定をする..... 26
- (6) データ移行および不要なユーザーの削除 ※必須作業ではないが推奨..... 26

1. 本マニュアルの概要

最近の Windows PC (Windows10 や Windows11) においては、初期設定時に Microsoft アカウントを作成して作業を行うよう促されます。そのままでも一般的な利用においては問題ありませんが、Microsoft アカウント(注1)しか設定していないユーザー状態での学内利用においては、重大な問題を生じる可能性があります。

その1つは OpenLAN (教職員の場合の GUnetWifi も同じ、以降 OpenLAN で記載する) を利用する場合です。OpenLAN の仕組みとして、起動した状態の PC で OpenLAN に接続し、さらに大学アカウントでログインすることではじめてインターネットへの通信経路が確保されます。上記設定の PC では、PC 起動時の Windows ユーザー認証に Microsoft 社への接続を求められる場合がありますが、OpenLAN を利用するためには PC を起動する必要があるため入れ子状態になってしまい、実質学内で PC が起動できなくなる可能性があります。

もう1つは、設定した Microsoft アカウントが岐阜大学メールアドレスである場合です。この場合、今後予定されている機構アカウント利用への統合に伴う岐阜大学アカウントの廃止と同時に、永久に PC の起動ができなくなるという問題があります。こうなると PC を初期化 (再インストール) するしか解決できなくなります。

本学としては、このようなことに陥らないように、事前に Microsoft アカウントの Windows ユーザーだけでなくローカルユーザー(注2)で PC が起動できるようにしておくことを強く推奨しています。本マニュアルでは、Windows でローカルアカウントを作成する方法についてご説明します。なお、本マニュアルによる作業を行うにあたり、インターネット接続して PC を起動しておく必要があります。

※注1 Windows パソコンにログオンするため PC に登録するユーザーの一形態。

Microsoft 社に登録する、一般的にメールアドレス形式のアカウント

注2 Windows パソコンにログオンするため PC に登録するユーザーの一形態。

Microsoft 社に登録しないため、名称や形式は自由

◆ 対象者

本学にて Windows PC を利用したい方のうち、PC の初期設定を Microsoft アカウントで設定してからローカルユーザーを登録していない者

◆ 利用登録できる端末

公費又は私費で購入した Windows PC

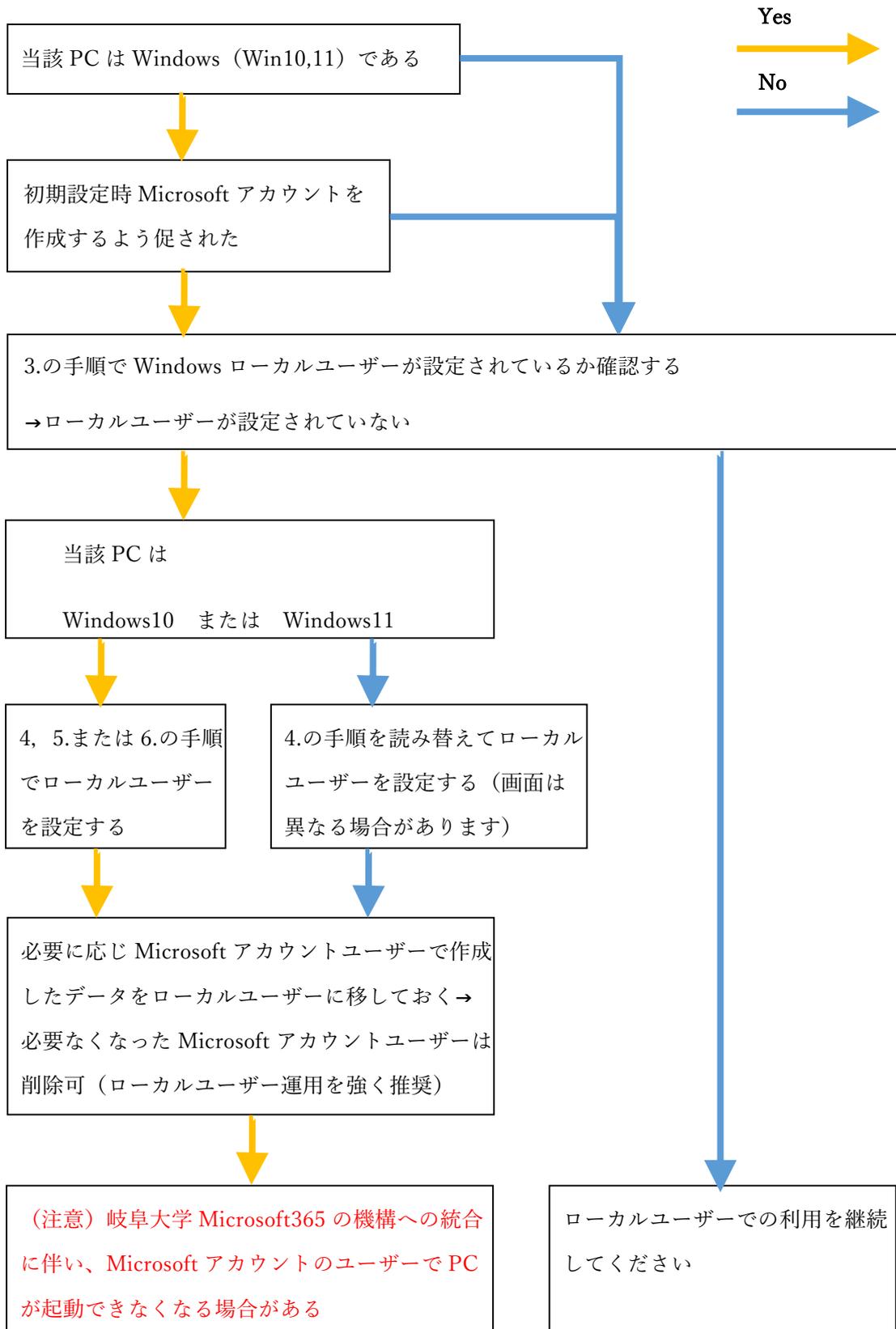
◆ 相談窓口

情報館 1 階

メール : imc-help@gifu-u.ac.jp

内 線 : 2041

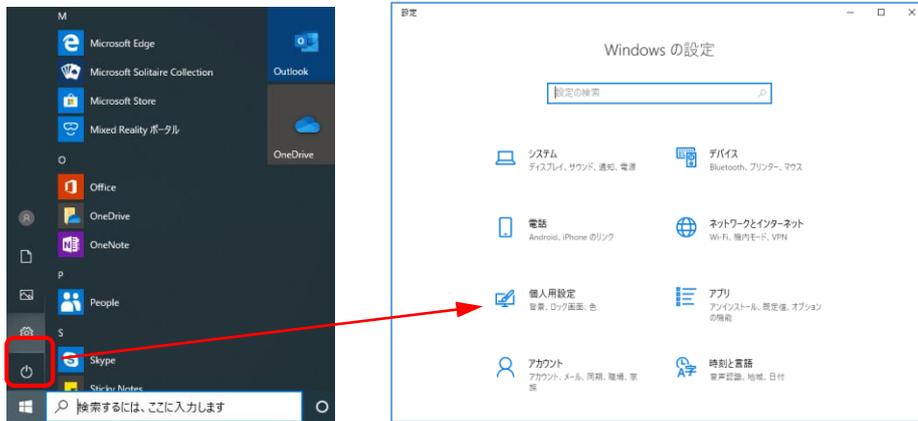
2. Windows ローカルユーザーの確認および設定フロー



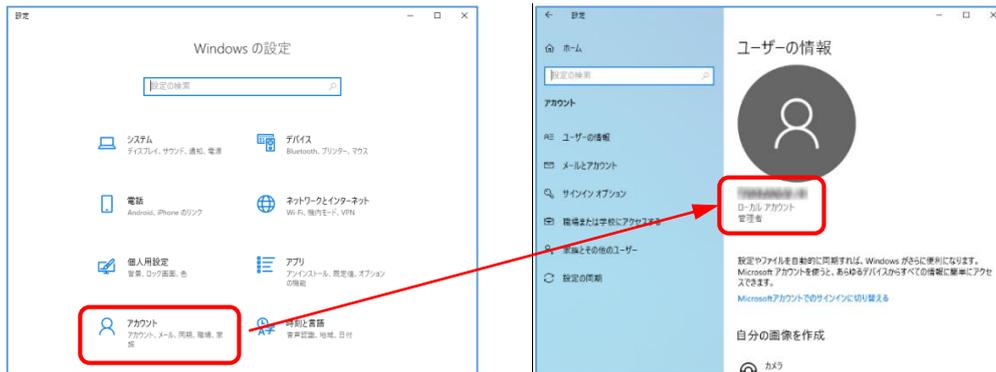
3. Windows でローカルユーザーの有無を調べる

(1) Windows10 で設定画面(アカウント)を確認する

① Windows スタート→設定とクリックして、Windows の設定画面を表示します。



② Windows の設定画面で「アカウント」を開き、現在のユーザーが「ローカルアカウント」かつ「管理者」であれば、ローカルユーザーは設定されています。

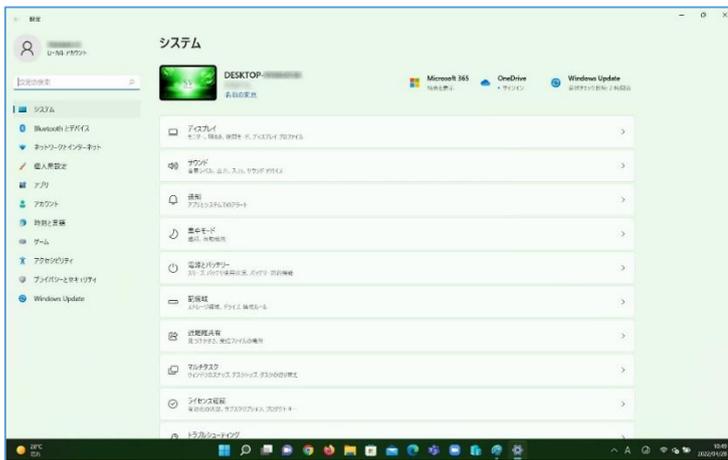
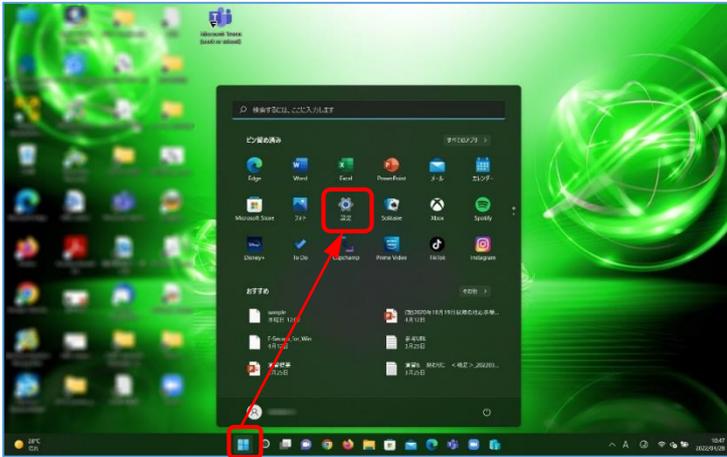


③ ②が Microsoft アカウントであった場合「家族とその他のユーザー」を開き、他のユーザーにローカルユーザーかつ管理者となっているユーザーがあれば、ローカルユーザーは存在しています。(下図は他のユーザーがない状態)

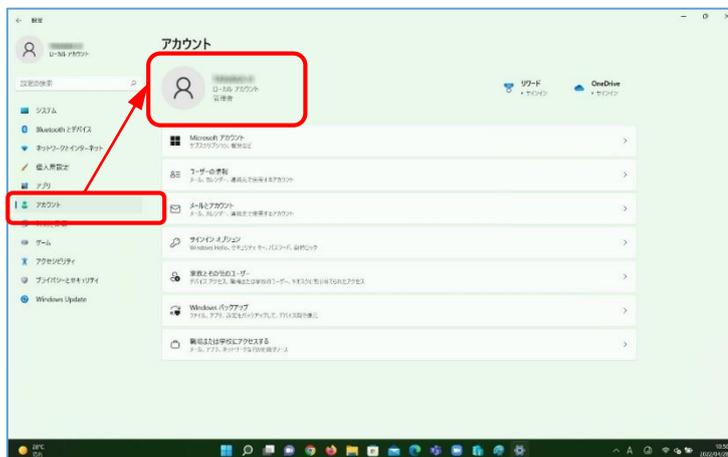


(2) Windows11 で設定画面(アカウント)を確認する

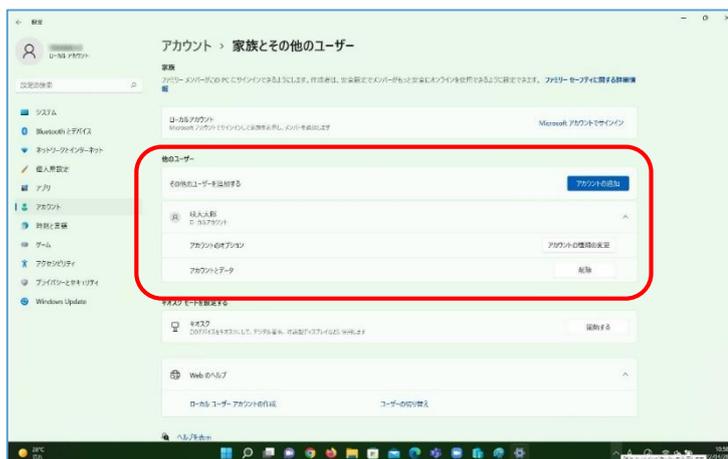
- ① Windows スタート→設定をクリックして、Windows の設定画面を表示します。



- ② Windows の設定画面で「アカウント」を開き、現在のユーザーが「ローカルアカウント」かつ「管理者」であれば、ローカルユーザーは設定されています。



- ③ ②が Microsoft アカウントであった場合「家族とその他のユーザー」を開き、他のユーザーにローカルユーザーかつ管理者となっているユーザーがあれば、ローカルユーザーは存在しています。（下図は他のユーザーが設定済みの状態）

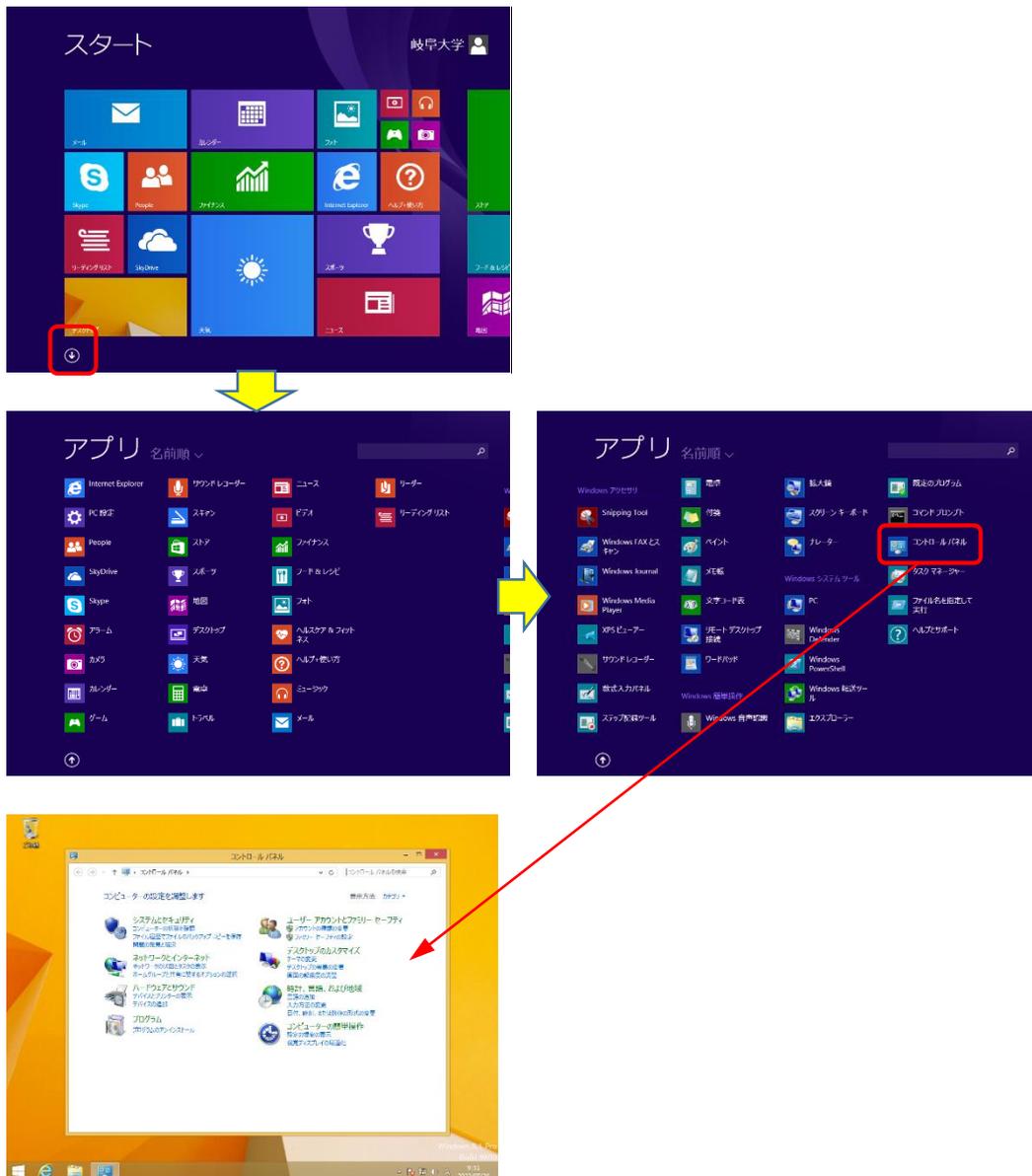


(3) Windows8.1 で設定画面(アカウント)を確認する

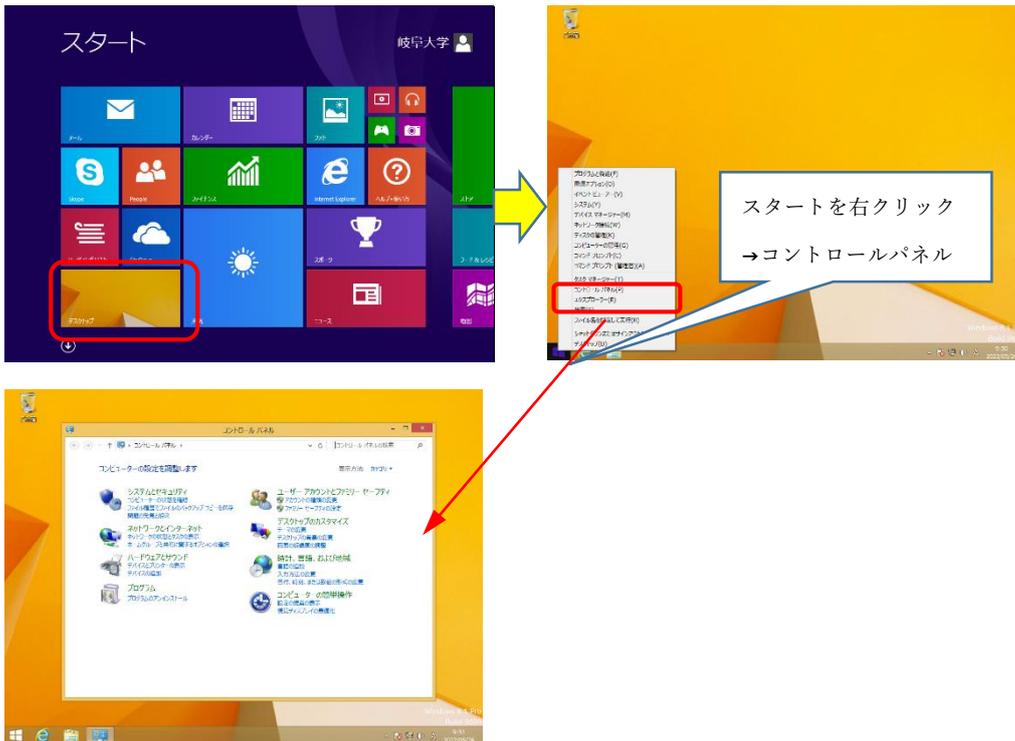
- ① Windows からコントロールパネル画面を表示します。(以下2通り示します)

Windows8.1は2023年1月10日に延長サポートも終了します。Windows8.1をご利用の方は、Windows10への移行をご検討ください。

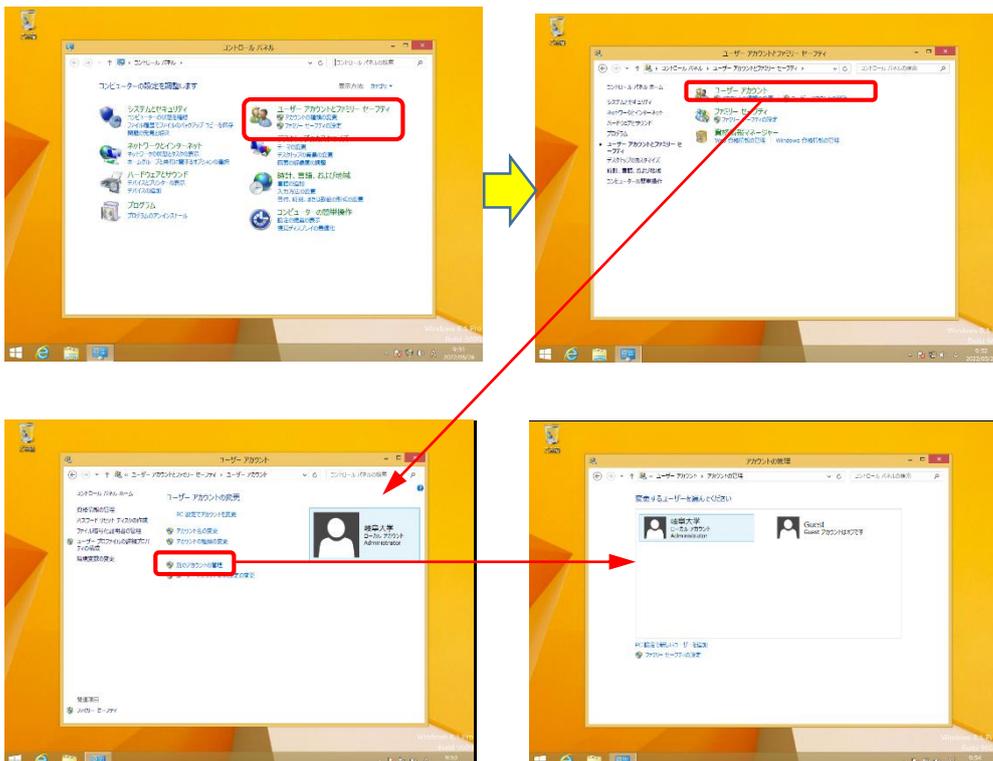
(アプリ一覧からコントロールパネルを開く)



(デスクトップ画面からコントロールパネルを開く)



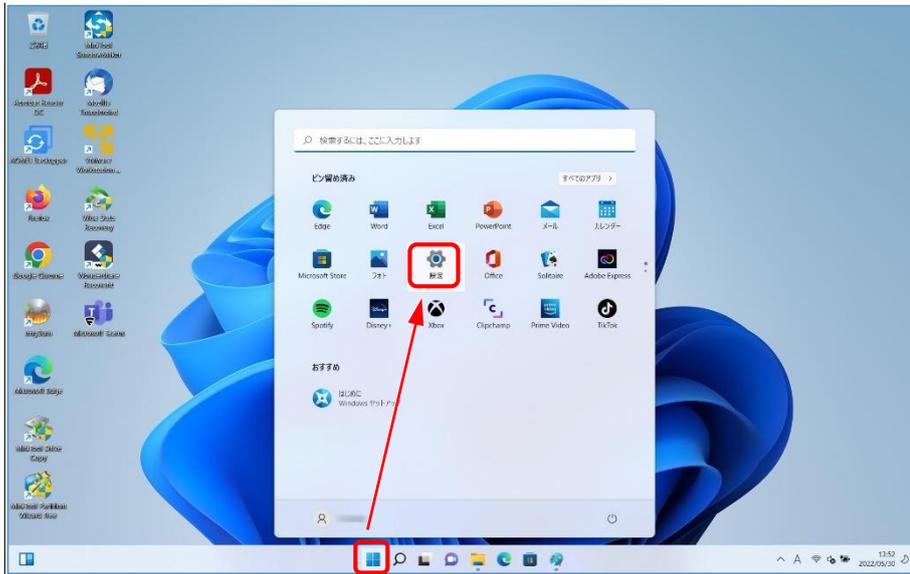
- ② コントロールパネルで「ユーザーアカウントとファミリーセキュリティ」→「ユーザーアカウント」と開き、現在のユーザーが「ローカルアカウント」かつ「Administrator」であれば、ローカルユーザーは設定されています。(別のアカウントの管理画面で現在のアカウントと Guest のみでも同じ)



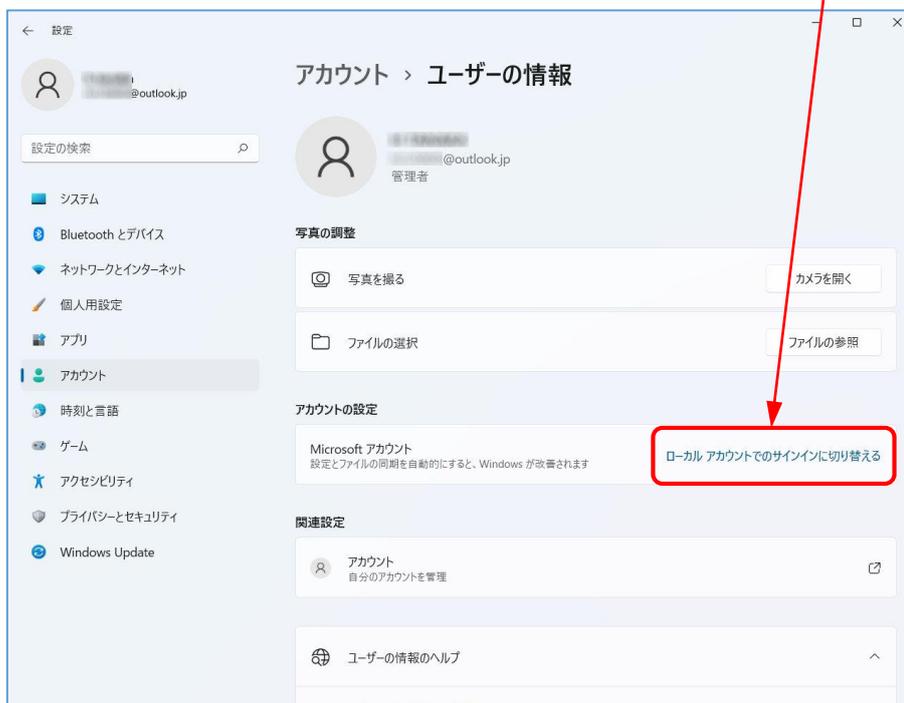
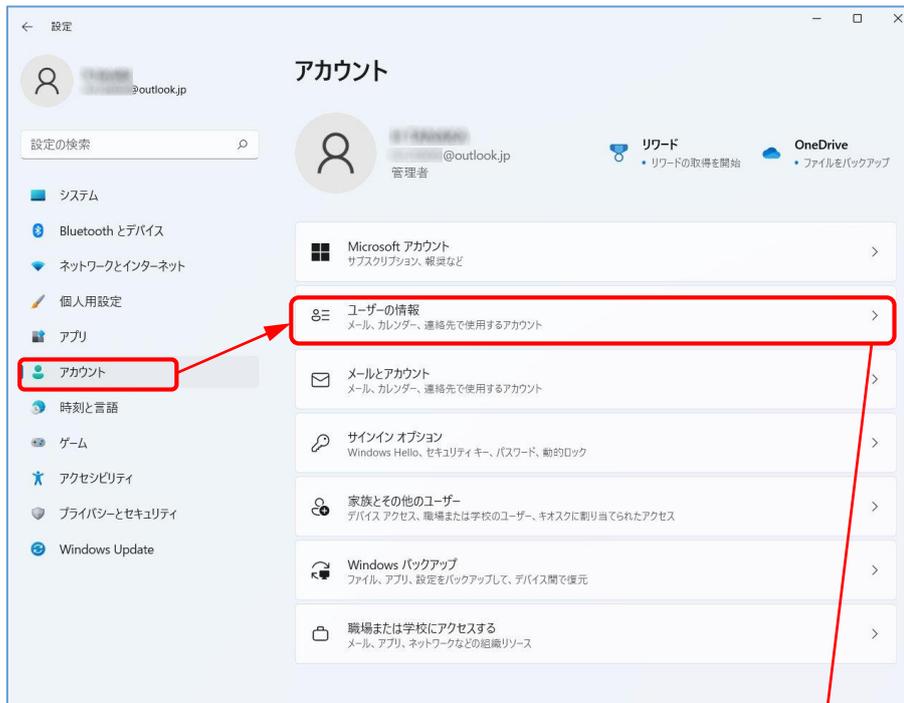
4. Windows11でのローカルユーザー切り替え (Windows10でも同様)

(1) PCを起動して設定画面(アカウント)を表示する

① Windows スタート→設定をクリックして、Windowsの設定画面を表示します。

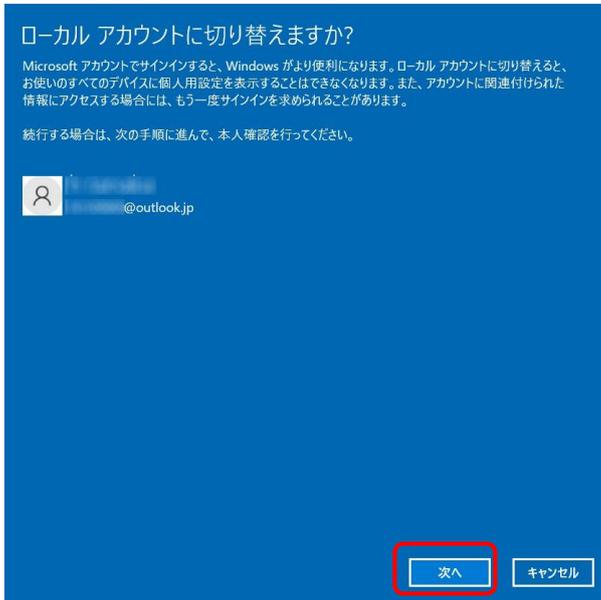


- ② Windows の設定画面で「アカウント」を開き、「ユーザーの情報」を開き、「アカウントの設定」の Microsoft アカウントの右「ローカルアカウントでのサインインに切り替える」をクリックします。



(2) ローカルアカウントを作成する

- ③ 「ローカルアカウントに切り替えますか？」のウィンドウが開き、現 Microsoft アカウントが表示されます。このアカウントをローカルアカウントに切り替えてよければ「次へ」をクリックします。



- ④ アカウントの本人確認が行われます。Windows ログイン時と同じパスワードを入力して「OK」をクリックします。



- ⑤ ローカルアカウントとしての情報を以下のように設定します。
- ・ユーザー名：Microsoft アカウントの最初の 5 文字（変更可）
 - ・パスワード：Microsoft アカウントと同じでも異なってもどちらでも問題なし
 - ・パスワードのヒント：ここも必須
- すべて設定できたら「次へ」をクリックします。

ローカル アカウント情報を入力してください

新規または既存のローカル アカウントのユーザー名とパスワードを入力してください。これは、今後 Windows へのサインインに使用するアカウントです。

引き続き Windows Hello を使用して Windows にサインインするには、パスワードを設定する必要があります。

ユーザー名

新しいパスワード

パスワードの確認入力

パスワードのヒント

次へ キャンセル

- ⑥ 設定完了できたら、「サインアウトと完了」をクリックして再起動します。

ローカル アカウントへの切り替え

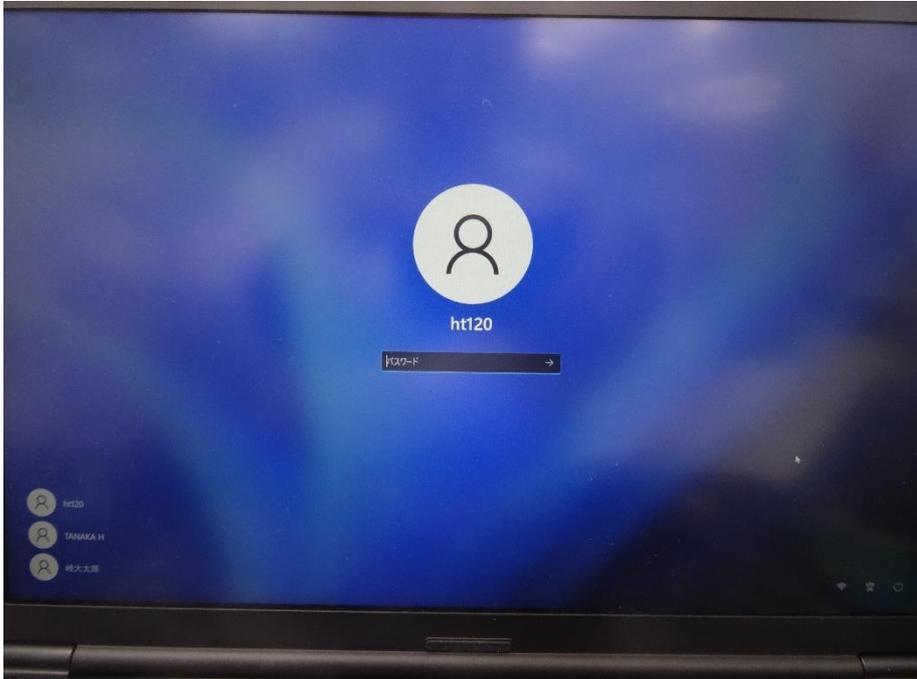
ht120
ローカル アカウント

もう少しで完了します。サインアウトする前に作業内容を保存してください。次にサインインするときに、新しいローカル アカウントの情報を使用してください。

サインアウトと完了 キャンセル

(4) PC を再起動し、作成したユーザーで起動する

- ⑦ PC は自動的に再起動します。作成したユーザーが選択されるので、設定したパスワードで起動してください。



- ⑧ デスクトップ画面になれば設定完了です。設定画面を開きユーザー名とローカルアカウントになっていることを確認してください。Microsoft アカウントの状態から各種設定も引き継がれますが、念のため動作確認をしておいてください。

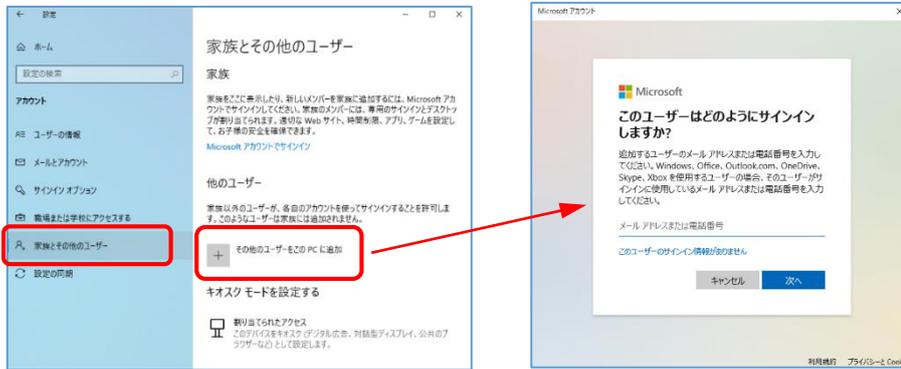




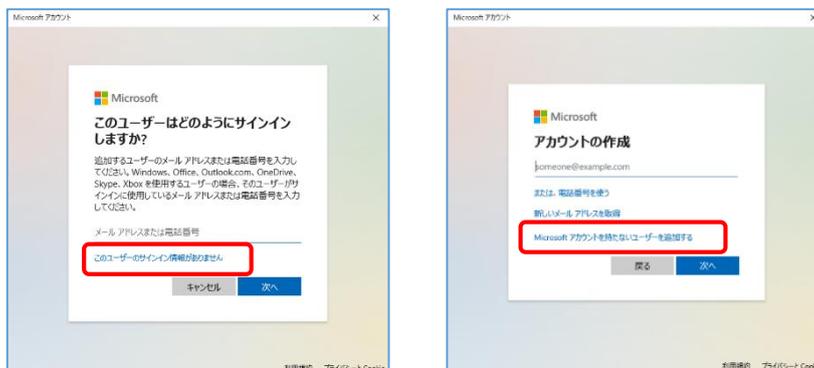
5. Windows10 でローカルユーザーを作成する

(1) Windows10 のアカウントを開いて新しいユーザーを作成する

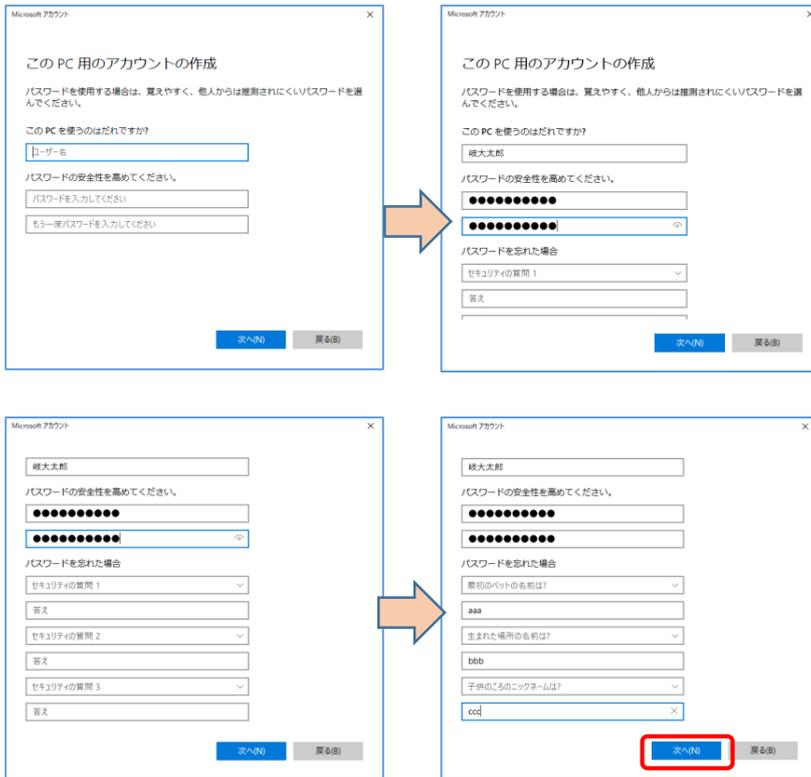
- ① Windows の設定画面「家族とその他のユーザー」で、「+その他のユーザーをこの PC に追加」をクリックし、サインイン画面を出します。



- ② サインイン方法の画面で「このユーザーのサインイン情報がありません」をクリックし、次のアカウントの作成画面で「Microsoft アカウントを持たないユーザーを追加する」をクリックします。



- ③ アカウントの作成画面になるので、PC 利用者（ユーザー名）とパスワードを設定します。この情報は PC 起動時に必要な情報となりますので失念しないよう留意してください。また、設定を進めるとパスワードを忘れた場合（秘密の質問と回答）を 3 つ設定するよう求められます。この内容はパスワードを失念した場合の再設定等で必要になるので、記録を取っておくことを推奨します。設定できたら「次へ」をクリックします。



(2) 作成したローカルアカウントを管理者に設定する

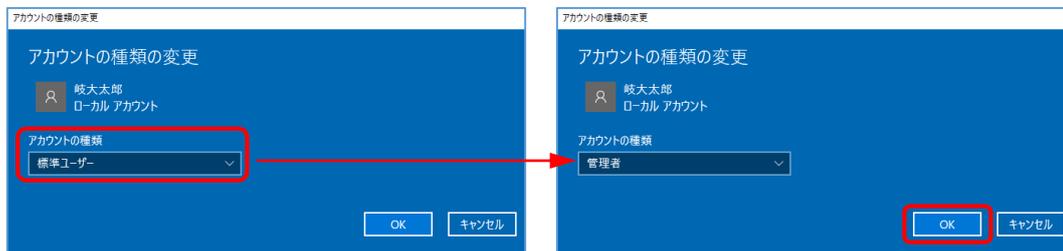
- ④ 他のユーザーに、作成したユーザーが追加されていることを確認します。



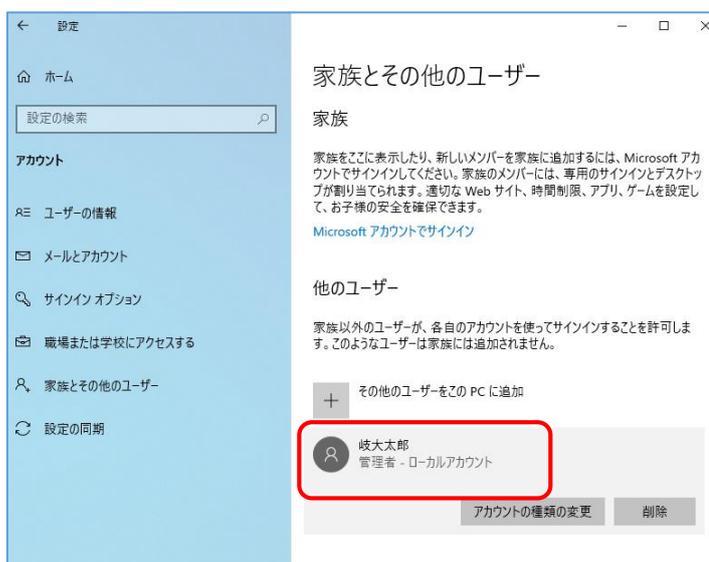
- ⑤ 追加したユーザーをクリックし、「アカウントの種類の変更」をクリックします。



- ⑥ アカウントの種類の変更画面が開くので、アカウントの種類を「標準ユーザー」から「管理者」に変更して「OK」をクリックします。

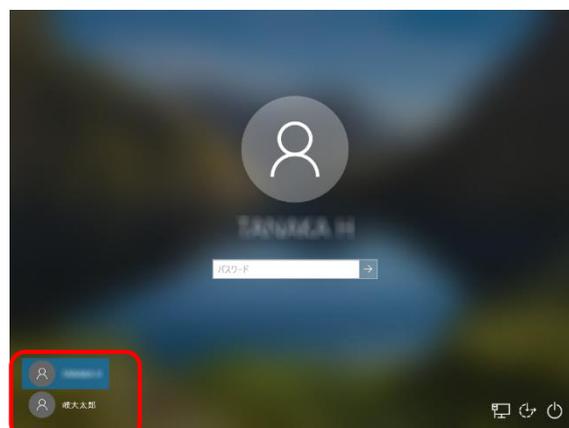
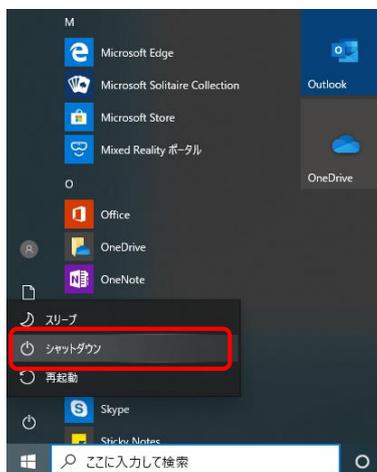


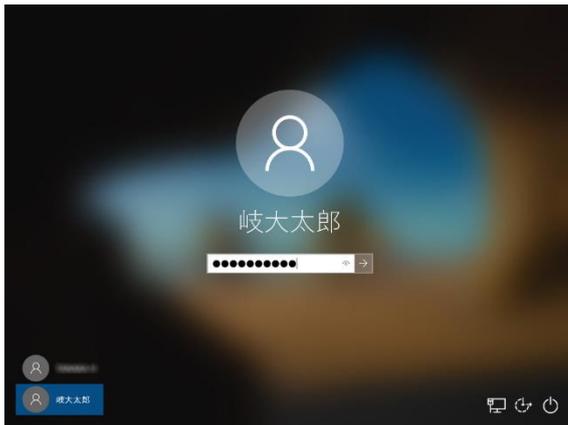
- ⑦ ユーザーに「管理者」が付いたことを確認します。1



- (3) PC を再起動し、起動時に選択できるユーザーを確認する

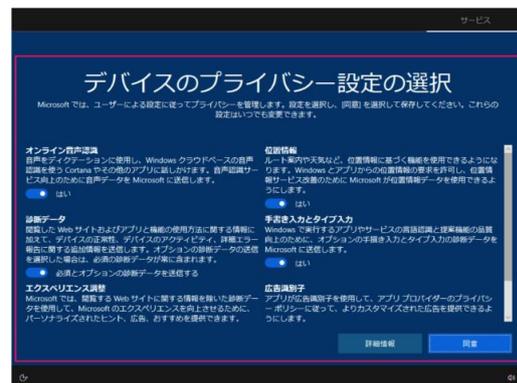
- ⑧ PC をシャットダウンして再起動してください。選択肢が2つに増えていることを確認し、作成したユーザーを選択して起動してください。



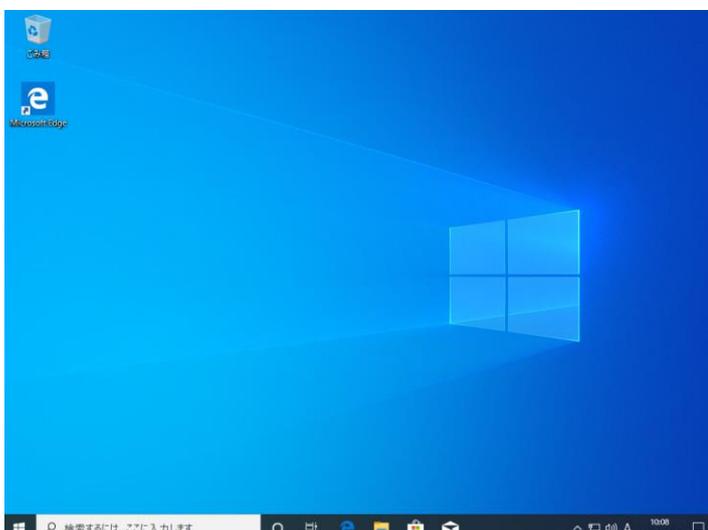


(4) 作成したユーザーの初回起動時設定をする

- ⑨ 再起動した際、新しく作成したアカウントに対する初期設定が行われます。下記のような画面が出ている間はお待ちください。「デバイスのプライバシー設定の選択」が出る場合は、初期設定時と同様に設定してください。



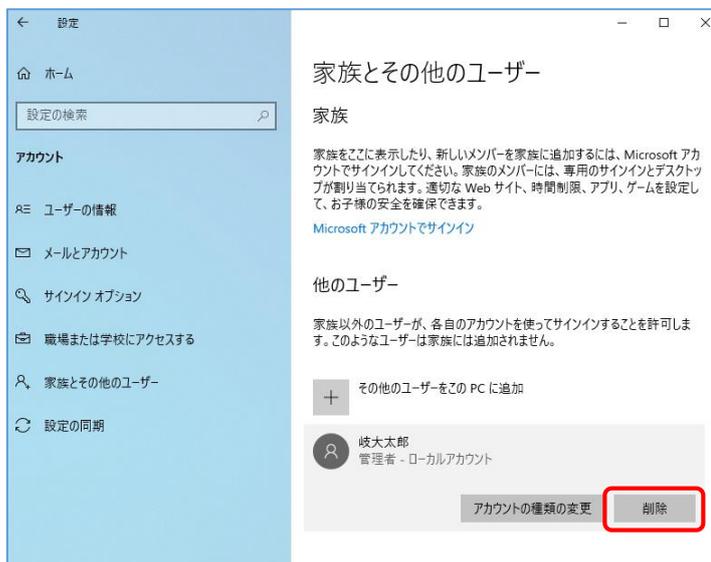
- ⑩ デスクトップ画面になれば、初期設定と起動は完了です。
この後、新しいユーザーで各種ソフトウェアが正常に動作するかを確認しておいてください。



(5) データ移行および不要なユーザーの削除 ※必須作業ではないが推奨

- ⑫ 元のユーザーと作成したユーザーでは、ユーザーデータ（各ユーザー毎のデスクトップやドキュメント、ピクチャ、ビデオ、ミュージック、ダウンロード等）について、全く別のものと認識されます。そのため、必要に応じて(4)のようにユーザーを切り替えながらユーザーデータを一方のユーザーに集めておくと利用しやすくなります。
- ⑬ ユーザーデータやソフトウェアの動作等に問題がないことを確認したら、元のユーザーは削除しても構いません。

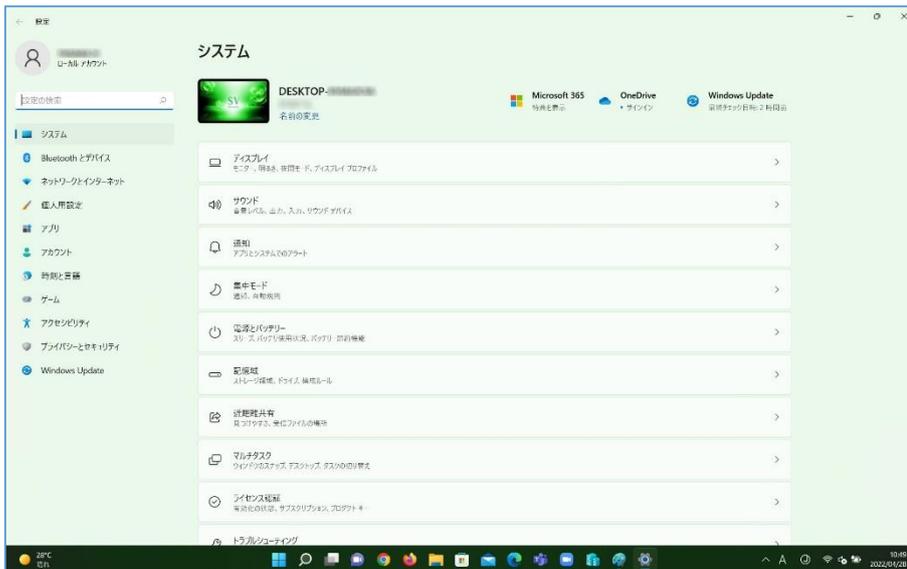
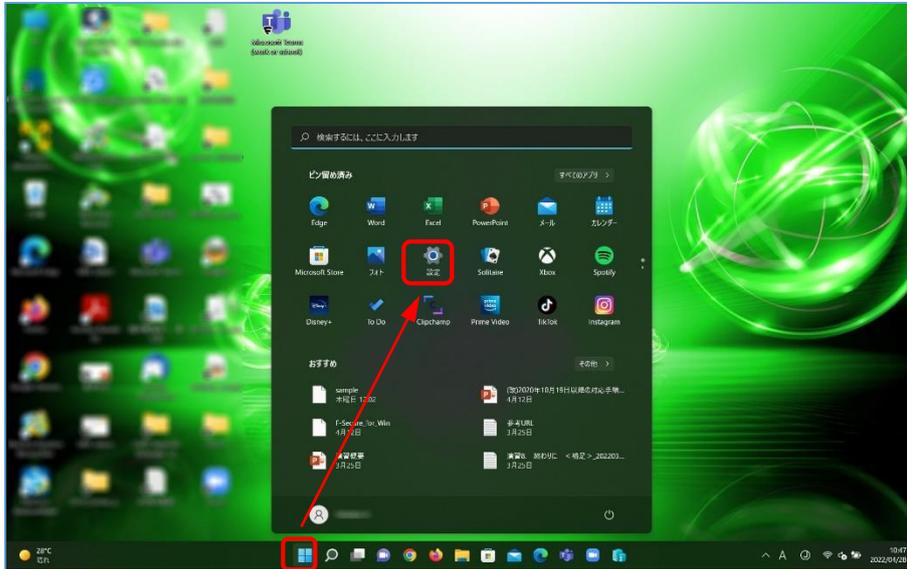
削除には「Windows の設定」→「アカウント」→「家族とその他のユーザー」と進み、削除したいユーザーアカウントを選択して「削除」します。削除するとそのユーザーデータも削除されます。



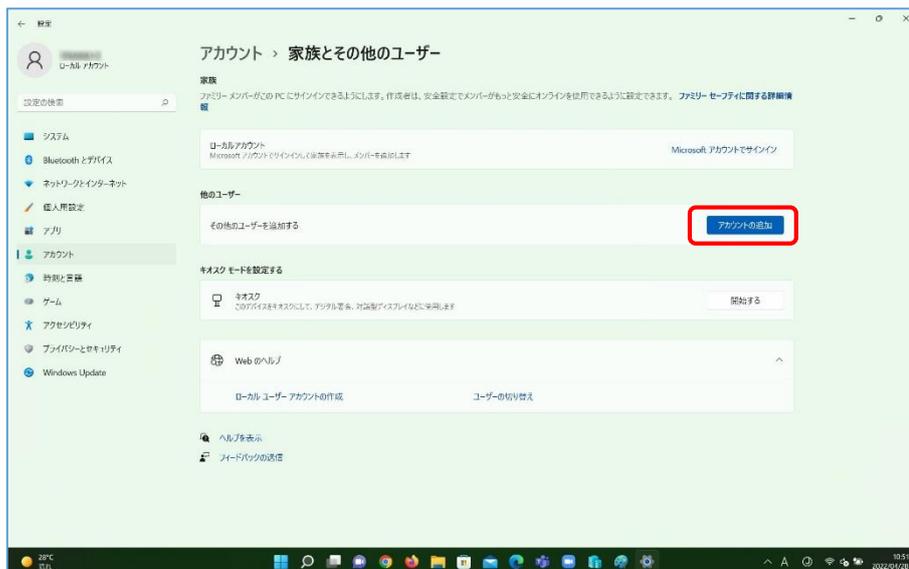
6. Winndows11 でのローカルユーザー作成

(1) PC を起動して設定画面 (アカウント) を表示する

① Windows スタート→設定をクリックして、Windows の設定画面を表示します。

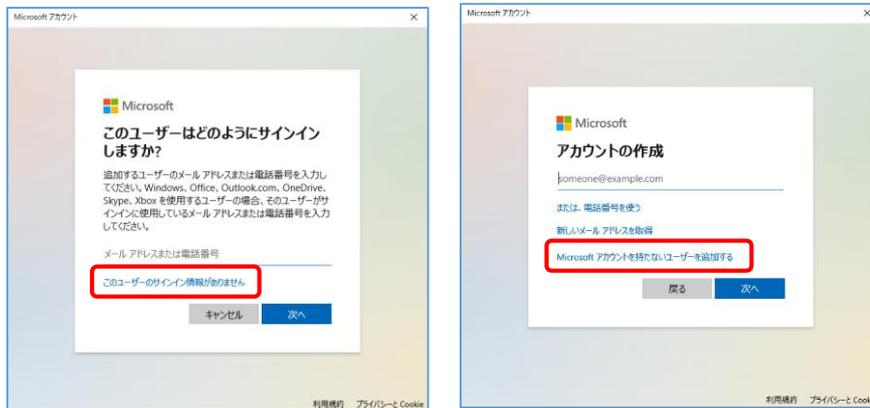


- ② Windows の設定画面で「アカウント」を開き、現在のユーザーが管理者であることを確認してください。その後「家族とその他のユーザー」を開き、「その他のユーザーを追加する」の右「アカウントの追加」でサインイン画面を出します。

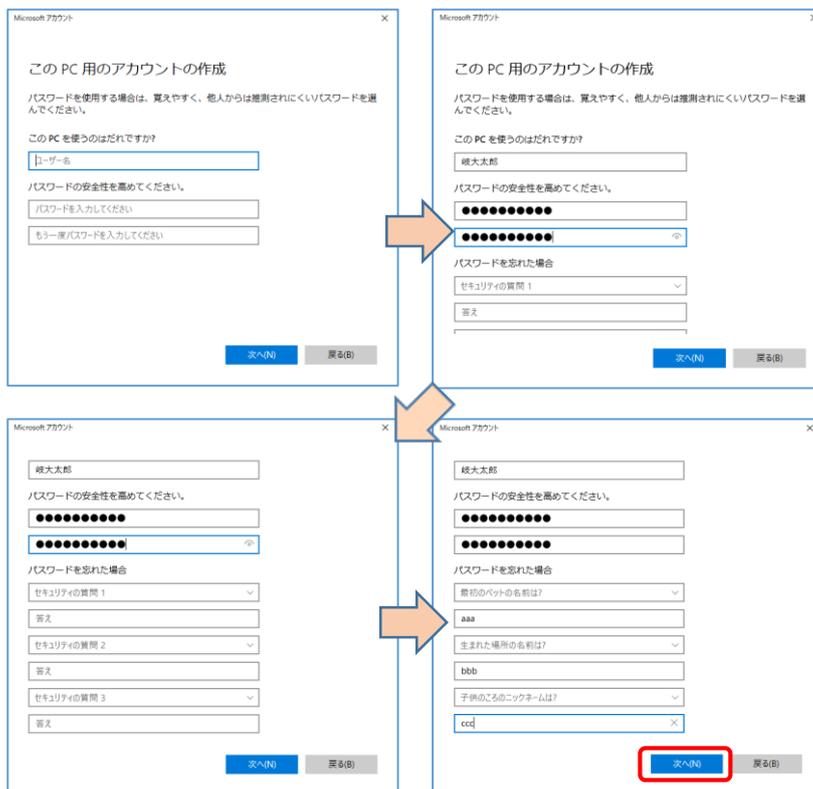


(3) 新しいローカルアカウントを作成する

- ③ サインイン方法の画面で「このユーザーのサインイン情報がありません」をクリックし、次のアカウントの作成画面で「Microsoft アカウントを持たないユーザーを追加する」をクリックします。

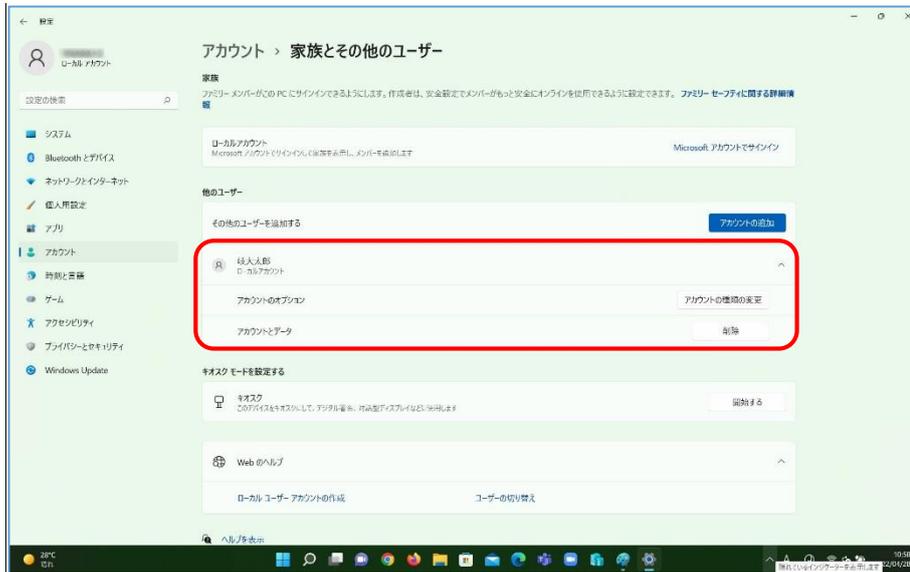


- ④ アカウントの作成画面になるので、PC 利用者とパスワードを設定します。この情報は PC 起動時に必要な情報となりますので失念しないよう留意してください。また、設定を進めるとパスワードを忘れた場合（秘密の質問と回答）を 3 つ設定するよう求められます。この内容はパスワードを失念した場合の再設定等で必要になるので、記録を取っておくことを推奨します。設定できたら「次へ」をクリックします。

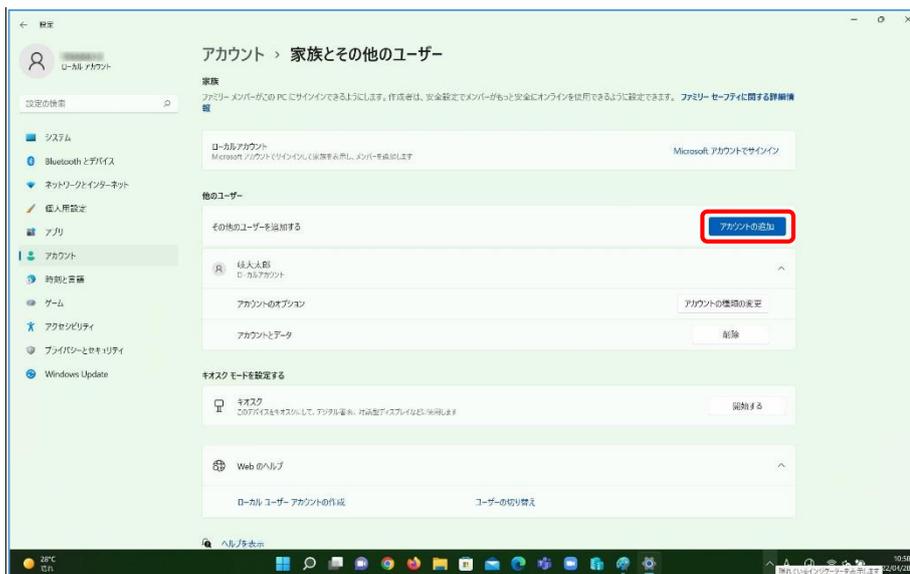


(3) 作成したローカルアカウントを管理者に設定する

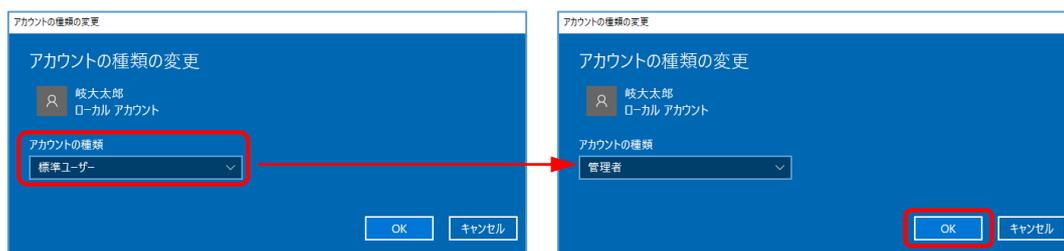
- ⑤ 他のユーザーに、作成したユーザーが追加されていることを確認します。



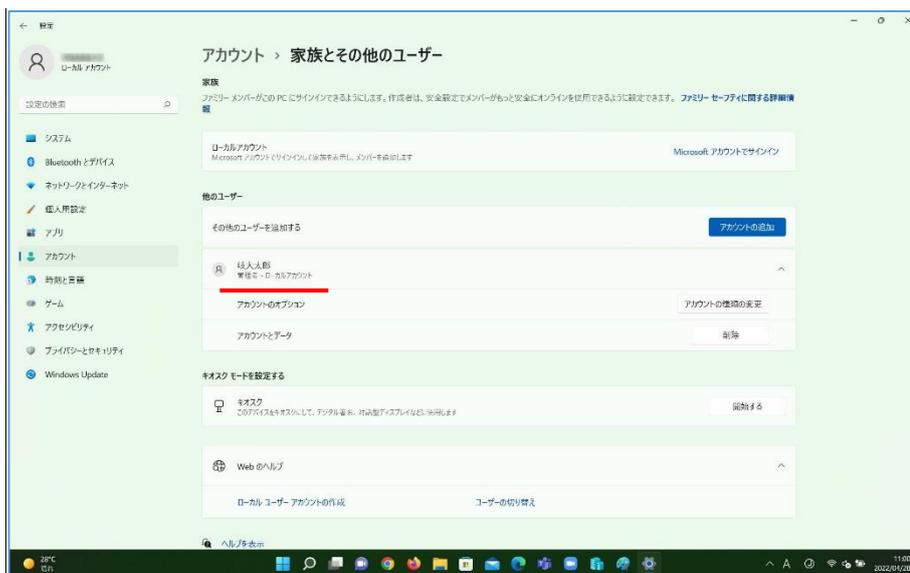
- ⑥ 追加したユーザーをクリックし、「アカウントの種類の変更」をクリックします。



- ⑦ 画面が変わり、アカウントの種類を「標準ユーザー」から「管理者」に変更して「OK」をクリックします。

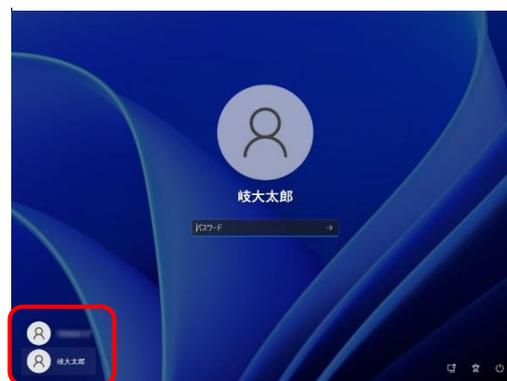
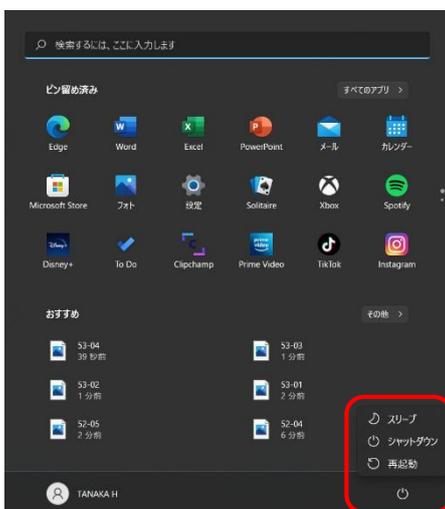


- ⑧ ユーザーに「管理者」が付いたことを確認します。1



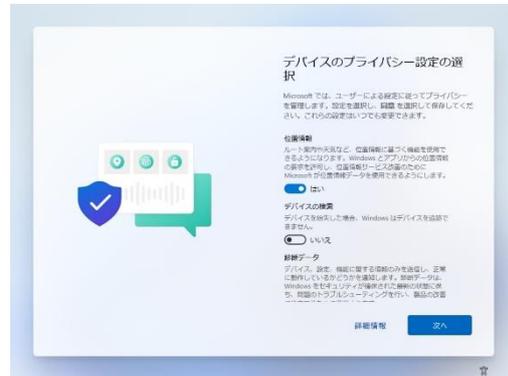
(4) PC を再起動し、起動時に選択できるユーザーを確認する

- ⑨ PC をシャットダウンして再起動してください。起動時のユーザー選択が2つに増えていることを確認し、作成したユーザーを選択して起動してください。



(5) 作成したユーザーの初回起動時設定をする

- ⑩ 再起動した際、新しく作成したアカウントに対する初期設定が行われます。下記左画面が出ていた間はお待ちください。「デバイスのプライバシー設定の選択」が出る場合は、初期設定時と同様に設定してください。



- ⑪ デスクトップ画面になれば、初期設定と起動は完了です。この後、新しいユーザーで各種ソフトウェアが正常に動作するかを確認しておいてください。



(6) データ移行および不要なユーザーの削除 ※必須作業ではないが推奨

- ⑫ 元のユーザーと作成したユーザーでは、ユーザーデータ（各ユーザー毎のデスクトップやドキュメント、ピクチャ、ビデオ、ミュージック、ダウンロード等）について、全く別のもので認識されます。そのため、必要に応じて(4)のようにユーザーを切り替えながらユーザーデータを一方のユーザーに集めておくと利用しやすくなります。

- ⑬ ユーザーデータやソフトウェアの動作等に問題がないことを確認したら、元のユーザーは削除しても構いません。

削除には「Windows の設定」→「アカウント」→「家族とその他のユーザー」と進み、削除したいユーザーアカウントを選択して「削除」します。削除するとそのユーザーデータも削除されます。

